

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域に愛され信頼されるホームをめざします 家庭的な環境の下で尊厳あるその人らしい生活をめざします」を、みとうグループホーム長居の理念として掲げ、日々、スタッフ一同取り組んでいます。	○ 今後も、「地域に愛され信頼されるホームをめざします 家庭的な環境の下で尊厳あるその人らしい生活をめざします」を、みとうグループホーム長居の理念として掲げ、日々、スタッフ一同、理念に近づけるように取り組んでいきます。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングや、何か物事に対して、迷った時、困った時は、理念に立ち返り、また考えて取り組んでいるようにしています。	○ 今後もミーティングや、何か物事に対して、迷った時、困った時は、理念に立ち返り、また考えて取り組んでいるようにしていきます。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や、見学者への説明時、契約時には理念を説明し、また目につきやすいように理念を額に入れて、掲げている。	○ 今後も運営推進会議や、見学者への説明時、契約時には理念を説明し、また目につきやすいように理念を額に入れて、掲げていく。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	積極的に利用者様と買い物に出かけるなど、地域のお店を利用するようにして地元で溶け込み、交流を図っている。	○ 今後は警察署や消防署なども回り、ホームの所在を知っていただけるように取り組んでいきたい。また、イベント事にも地域の方に参加をしていただけるように取り組んでいきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者様と共に、近隣のふれあい喫茶、地域ネットワーク、食事会などに参加し、交流を図っている。	○ 今後も利用者様と共に、近隣のふれあい喫茶、地域ネットワーク、食事会などに参加し、交流を図っていききたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は取り組めていない状況である。	○	ハード面の問題（玄関が正面にない。また、建物の2階・3階部分である。）もあるが、地域で出来ること、取り組めることを今後も検討し、出来ることから始めていきたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価後、スタッフ全員でミーティングを開き、評価内容の説明と改善点の指摘を話し合い、前向きに取り組んできた。		今回の外部評価後も、スタッフ全員でミーティングを開き、評価内容の説明と改善点の指摘を話し合い、前向きに取り組んでいく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	ホームだよりやホームビデオを使用して、利用者様の普段の様子や、ホームの雰囲気伝え、それに対して委員の皆様からアドバイスをいただいている。		今後もホームだよりやホームビデオを使用して、利用者様の普段の様子や、ホームの雰囲気を伝え、それに対して委員の皆様からアドバイスをいただいきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とも連携を取り合っており、サービスの質の向上を図りたいと考えてはいるが、現在は取り組めていない。	○	今後は、市町村にも訪問をするように意識をし、市町村と共にサービスの質の向上に努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度について、研修に参加するようにしており、学ぶ機会を持つように努めている。		今後も地域権利擁護事業や成年後見制度について、研修に参加するようにしており、学ぶ機会を持つように努めていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止の研修などを行っており、また資料を配布し話し合いの場を設けている。		今後も身体拘束廃止の研修などを行っていき、また資料などを通じて話し合いの場を設けて取り組んでいく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>今後も契約に至る前の段階から、重要事項説明書や、運営規定などを利用して、理解・納得いただけるまで何度も説明をして、また個々の家族様に合わせて柔軟に対応をしていく。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>今後も運営推進会議に利用者様も参加していただき、意見、アドバイスをいただき、外部者の皆さんとも一緒に取組んでいきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		<p>今後も月に最低一回はメドに連絡を必ず入れるように取組んでいき、報告を行っていく。またホームにお見えになられた際には、現状報告をすることを継続していく。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>今後も意見箱を設置し、意見を伝える手段として継続していく。また、外部への苦情相談の窓口や、連絡先の案内は、契約時には必ず説明を続けていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	<p>今後は管理者・各フロアのリーダーだけではなく、スタッフみんなと一緒に運営に関しての取り組みを話し合い、取組んでいく。また、定期的なミーティングも継続していく。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>今後も利用者様、家族様、スタッフみんなで、大きなファミリーであるように物事を考え行動をするように、その時々に合わせて柔軟に対応をしていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	時間をかけて、引継ぎを行うように取り組んでおり、利用者様へのダメージを出来る限り少なくするように取り組んでいる。		今後も時間をかけて、引継ぎを行うように取り組んでいき、利用者様へのダメージを出来る限り少なくするように取り組んでいく。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJT（社内研修）を時間をかけて取り組んでおり、介護経験の浅いスタッフの方でも、安心して働いていただけるように資料を揃えたり、気軽に話しをできる環境を整えている。また、外部の研修を受けられるように、勉強会などにも積極的に参加をしていただいている。		今後もOJT（社内研修）を時間をかけて取り組んでいき、介護経験の浅いスタッフの方でも、安心して働いていただけるように資料を揃えたり、気軽に話しをできる環境を整えていく。また、外部の研修を受けられるように、勉強会などにも積極的に参加をしていただいている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者はこの地域の認定審査会の委員であり、事業所も社会福祉協議会の老人施設部会にも参加をしている。またグループホーム協議会にも参加しており、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。		今後も社会福祉協議会の老人施設部会や、グループホーム協議会にも参加していき、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っていく。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は外部の講師を招いて講習会を行ったり、運営者自らスタッフ一人ひとりと個人面談の場を持ち、身近な存在として、スタッフの意見にも耳を傾けており、働きやすい環境を作るために日々取り組んでいる。		今後も運営者は外部の講師を招いて講習会を行っていき、運営者自らスタッフ一人ひとりと個人面談の場を持ち、身近な存在として、スタッフの意見にも耳を傾けていき、働きやすい環境を作るために日々取り組んでいく。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者自らスタッフ一人ひとりと個人面談の場を持ち、身近な存在として、スタッフの意見にも耳を傾けており、働きやすい環境を作るために日々取り組んでいる。また、管理者は毎日運営者への業務報告を細かく行っている。		今後も運営者自らスタッフ一人ひとりと個人面談の場を持ち、身近な存在として、スタッフの意見にも耳を傾けており、働きやすい環境を作るために日々取り組んでいく。また、管理者は毎日運営者への業務報告を細かく行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の段階から、しっかりと話し合いの場を持つことを心がけており、言葉だけでは表せない部分についても把握するように、時間をかけて一人ひとりに合わせて、柔軟に向き合っている。	今後とも相談の段階から、しっかりと話し合いの場を持つことを心がけ、言葉だけでは表せない部分についても把握するように、時間をかけて一人ひとりに合わせて、柔軟に向き合っていく。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族様とも相談の段階から、しっかりと話し合いの場を持つことを心がけており、言葉だけでは表せない部分についても把握するように、時間をかけて一人ひとりに合わせて、柔軟に向き合っている。	今後とも家族様と相談の段階から、しっかりと話し合いの場を持つことを心がけ、言葉だけでは表せない部分についても把握するように、時間をかけて一人ひとりに合わせて、柔軟に向き合っていく。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際には、安易にグループホームへの入居を話すことはせずに、まずご本人様とご家族様が置かれている状況を傾聴し、介護保険全体的話をするところから始めている。	今後とも相談を受けた際には、安易にグループホームへの入居を話すことはせずに、まずご本人様とご家族様が置かれている状況を傾聴し、介護保険全体的話をするところから始めていく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりグループホームへ入居となる前に、まずお試しということで、体験入居を設けており、ご家族様だけではなく、ご本人様も納得をされた上での契約に努めている。また、入居後も環境の変化に出来る限りと惑われないように、なじみのあるものを出来る限りたくさんお持ちいただいたり、ご家族様も宿泊していただいている。	今後ともいきなりグループホームへ入居となる前に、まずお試しということで、体験入居を設けており、ご家族様だけではなく、ご本人様も納得をされた上での契約に努めていく。また、入居後も環境の変化に出来る限りと惑われないように、なじみのあるものを出来る限りたくさんお持ちいただいたり、ご家族様も宿泊していただけるようにしていく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様は人生の先輩であるという考えをスタッフが共有しており、利用者様から教えていただくことも多い。また、そのような利用者様が活躍できる場面をより多くお持ちいただけるように、一緒に物事に取り組めるような環境を整えている。	今後とも利用者様から教えていただくことができる場面をより多くお持ちいただけるように、一緒に物事に取り組めるような環境を整えていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	事業所は、スタッフだけで物事を考える姿勢では取組んでおらず、ご家族様とも一緒になって、物事を考えて取り組んでいる。実際にご家族様に助けていただく事が多く、一緒になってご本人様の支援に取り組んでいる。		今後も事業所は、スタッフだけで物事を考える姿勢では取組んでいかず、ご家族様とも一緒になって、物事を考えて取り組んでいく。実際にご家族様に助けていただく事が多く、一緒になってご本人様の支援に取り組んでいきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	年に2回、ご家族様を招いての家族会を開催しており、同じテーブルを囲んで食事をする場面を提供している。また、イベント事にもご家族様にも参加を呼びかけ、少しでも一緒に過ごせる時間を提供できるように取り組んでいる。		今後も年に2回、ご家族様を招いての家族会を開催していき、同じテーブルを囲んで食事をする場面を提供していく。また、イベント事にもご家族様にも参加を呼びかけ、少しでも一緒に過ごせる時間を提供できるように取り組んでいく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様だけではなく、馴染みがあった方にも、気軽にホームに遊びに来ていただけるように取り組んでいる。また、希望時には馴染みがあった場所へ出かける事も支援している。		今後もご家族様だけではなく、馴染みがあった方にも、気軽にホームに遊びに来ていただけるように取り組んでいく。また、希望時には馴染みがあった場所へ出かける事も支援していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様と皆様で楽しめることを日々の生活の中で自然に見つけ、お互いにコミュニケーションが取れるように支援をしている。		今後も利用者様と皆様で楽しめることを日々の生活の中で自然に見つけ、お互いにコミュニケーションが取れるように支援をしていく。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者様は、運営者の古くからのつきあいがある方が多く、ご本人様だけではなく、家族ぐるみのつきあいをしている。		今後も運営者の古くからのつきあいを大切にしたい、ご本人様だけではなく、家族ぐるみのつきあいを大事にしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的にケアカンファレンスを開き、情報の共有化を図っている。また、ご本人とのコミュニケーションに常に努めており、日常的に利用者本位で検討をしている。	今後も定期的にケアカンファレンスを開き、情報の共有化を図っていく。また、ご本人とのコミュニケーションに常に努めており、日常的に利用者本位で検討をしていく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様からの情報、またはご本人からの聞き取りなどをセンター方式のシートに記入している。日々の様子で変化があれば、経過支援表に記載をして、把握している。	今後もご家族様からの情報、またはご本人からの聞き取りなどをセンター方式のシートに記入していく。日々様子で変化があれば、経過支援表に記載をして、把握していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの日課表を作成し、過ごされ方を観察している。また、言葉だけでなく、表情・仕草からも本位を汲み取り、本人の意向に沿う生活が過ごせるように支援している。	今後も一人ひとりの日課表を作成し、過ごされ方を観察していく。また、言葉だけでなく、表情・仕草からも本位を汲み取り、本人の意向に沿う生活が過ごせるように支援していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアカンファレンスを定期的に関き、利用者様の意向に沿えるように家族様も交えた話し合いを続けている。また、日々の係わりの中で、本人の思いや意見を聞き、反映させるようにしている。	今後も、ケアカンファレンスを定期的に関き、利用者様の意向に沿えるように家族様も交えた話し合いを続けていく。また、日々の係わりの中で、本人の思いや意見を聞き、反映させるようにしていく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた介護計画だけではなく、その時々の変化に合わせて柔軟に家族様も交わってもらいながら介護計画を見直している。	今後も期間に応じた介護計画だけではなく、その時々の変化に合わせて柔軟に、家族様も交わってもらいながら介護計画を見直していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の本人の様子をケア記録に記載し、スタッフが情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。		今後も毎日の本人の様子をケア記録に記載し、スタッフが情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	24時間営業の特性を活かし、家族様の面会時間の融通性や、希望されれば食事、宿泊も提供できる。		今後も24時間営業の特性を活かし、家族様の面会時間の融通性や、希望されれば食事、宿泊も提供していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	希望時には公共機関を利用して外出援助を行ったり、消防訓練なども行っている。外出先には、図書館や公共の書道展などにも出かけている。		今後も希望時には公共機関を利用して外出援助を行っていく。また、図書館や公共の書道展などにも出かけていく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向を何より大切にし、在宅復帰も含め支援をしている。		今後も本人の意向を何より大切にし、在宅復帰も含め支援をしていく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議を通じて、地域包括支援センターと交流をしており、アドバイスをいただいている。		今後も運営推進会議などを通じて、地域包括支援センターと交流をしていき、必要に応じたアドバイスをいただいている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様が以前から係りつけていた医師に往診に来ていただいております。主治医と相談をしながら、スタッフ付き添いの下、その他の外部通院介助も行い、適切な医療を受けられるように支援をしています。		今後も本人様が以前から係りつけていた医師に往診に来ていただき、主治医と相談をしながら、スタッフ付き添いの下、その他の外部通院介助も行い、適切な医療を受けられるように支援をしていく。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	一人ひとりの利用者様の主治医に対しては、認知症の事も含めて相談を行っているが、現在は認知症の専門医との連携の事例はない。	○	今後は一人ひとりの利用者様の状況に応じて、主治医と相談をしながら、認知症の専門医との連携にも取組んでいきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームに併設している事業所の看護師と連携を取っており、必要に応じて、適切なアドバイス・支援をいただいている。		今後もグループホームに併設している事業所の看護師と連携を取っていき、必要に応じて、適切なアドバイス・支援をいただいでいく。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者様が入院された際には、様子を何度も見に病院までお見舞いに出かけ、一日でも早い退院を出来るように、ご家族様、病院関係者と連携を取っている。		今後も利用者様が入院された際には、様子を何度も見に病院までお見舞いに出かけ、一日でも早い退院を出来るように、ご家族様、病院関係者と連携を取っていく。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時から、重度化、終末期に入る前に、主治医、家族様、ご本人と話し合いを行い、全員で方針を共有している。ホームの立場としては、本人の意向を最大限考慮をした、対応をしている。		今後も契約時から、重度化、終末期に入る前に、主治医、家族様、ご本人と話し合いを行い、全員で方針を共有している。ホームの立場としては、本人の意向を最大限考慮をした、対応を続けていく。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所は医師の了解の下、本人が希望することを優先し、行えることは出来る限り支援をしていくように取り組んでいる。		今後も事業所は医師の了解の下、本人が希望することを優先し、行えることは出来る限り支援をしていくように取り組んでいく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去後も、以前のように生活を送れるようにケア関係者間での話し合いを十分に行い、本人の意向に沿うように努めている。		今後も、退去後も、以前のように生活を送れるようにケア関係者間での話し合いを十分に行い、本人の意向に沿うように努めていく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの確保と共に秘密保持の徹底をスタッフの意識向上の下、図っている。また、利用者様の誇りやプライバシーを損ねることのないように対応している。		今後もプライバシーの確保と共に秘密保持の徹底をスタッフの意識向上の下、図っていく。また、利用者様の誇りやプライバシーを損ねることのないように対応していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	スタッフは常に利用者様の希望に添えるよう声かけし、表情・仕草を観察しながら、本人の納得できる生活が保たれるよう支援している。		今後もスタッフは常に利用者様の希望に添えるよう声かけし、表情・仕草を観察しながら、本人の納得できる生活が保たれるよう支援していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフが時間に追われることがあまりないように、一日の流れの中で利用者様の体調に合わせ気持ちを尊重し、個別性のある支援を行っている。		今後もスタッフが時間に追われることがあまりないように、一日の流れの中で利用者様の体調に合わせ気持ちを尊重し、個別性のある支援を行っていく。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人様の希望に応じる身だしなみを取り入れている。理容・美容に関しても訪問理容を利用したり、近くの美容院にスタッフの付き添いの下、外出をしている。		今後も本人様の希望に応じる身だしなみを取り入れていく。理容・美容に関しても訪問理容を利用したり、近くの美容院にスタッフの付き添いの下、外出をしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>今後も献立表を利用者様と話し合いながら作成し、なおかつ当日のメニューも意向に合わせて調整していく。一緒に買い物に出かけ、調理、盛り付け、後片付けなども共に行い、同じテーブルを囲んで食事をすることを継続していく。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>今後も日常的に本人の好む物を一緒に買い物に行き、自然に楽しめるように支援していく。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>今後も一人ひとりの排泄表を作成し、時間を見計らって声をかけるなどを心がけ、個人個人に合った対応をしていく。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>今後もご本人が入りたいときに入れるように支援をしていく。また、季節に応じた入浴の楽しみも継続して、提供していく。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>今後も医療に頼りすぎることなく、一人ひとりの生活習慣に合わせて、居室での安眠や、リビングでの休息など穏やかな環境を作るように支援していく。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>今後も定期的な外出や役割分担を行っておき、また一人ひとりに合わせた意向を支援していく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭のやり取りの大切さを大事に考えており、家族様との相談を行い、金銭を所持していただき、買い物時に使えるように支援をしている。		今後も金銭のやり取りの大切さを大事に考えていき、家族様との相談を行い、金銭を所持していただき、買い物時に使えるように支援をしていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者はいつでも戸外へ出かけられるように支援を行っており、外出が困難な方でも、屋上の庭園やベランダで日光浴を楽しんでいただけるように支援している。		今後も希望者はいつでも戸外へ出かけられるように支援を行っていき、外出が困難な方でも、屋上の庭園やベランダで日光浴を楽しんでいただけるように支援していく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	一人ひとりの希望に応じて計画を立てて、遠出の外出や高級な飲食店への外出、神社への参拝などを支援している。		今後も一人ひとりの希望に応じて計画を立てて、ご本人の意向を大切に支援していく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には居室内に電話を引いたり、携帯電話を所持していただいております、ホームの電話も希望時に応じて、使用していただいております。		今後も希望者には居室内に電話を引いたり、携帯電話を所持していただけるように支援していき、ホームの電話も希望時に応じて、使用していただけるようにしていきます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は柔軟に対応しており、希望時には宿泊もしていただけるように支援している。また、居心地良く過ごしていただけるように飲食の提供も行っている。		今後も面会時間は柔軟に対応していき、希望時には宿泊もしていただけるように支援していく。また、居心地良く過ごしていただけるように飲食の提供も行っていく。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止のマニュアルを作成しており、スタッフに周知を図っている。		今後も身体拘束廃止のマニュアルを使用してスタッフに周知を図っていき、社内研修も行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>今後はより、圧迫感のないように生活を送っていただけるように運営者、家族様、スタッフと話し合いを続けながら、利用者様が窮屈な思いをしながら生活をされることがないように支援をしていく。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		<p>今後もスタッフはフロアで過ごされている方の所在を把握しながら、またプライバシーにも配慮し、安全の確認を行っていく。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>今後も利用者様の希望に応じて自室に保管していただいく。火元の管理に関しては安全面を優先して、スタッフで行っていく。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		<p>今後もヒヤリハット報告書の作成や各種社内研修にて周知や知識を深めていく。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<p>今後も緊急時対策マニュアルを用いて、社内研修を行い周知を図り、外部研修にも出来る限り参加していく。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>今後も年に2回、昼夜を想定して消防署の指導の下、消防訓練に行く。その際には地域の方々にも参加を呼びかけ、一緒に行っていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	体調や心の変化が見られたときには、家族様に電話連絡をしたり、ホームに見えられた時にリスクも含めた状況説明を詳しくしている。		今後も体調や心の変化が見られたときには、家族様に電話連絡をしたり、ホームに見えられた時にリスクも含めた状況説明を詳しくしていく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝礼、夕礼の場で利用者様の情報を共有しており特に変わった様子があれば、主治医、運営者、管理者に速やかに報告をし、指示を仰ぎ、状況によってだが、家族様に報告をしている。		今後も朝礼、夕礼の場で利用者様の情報を共有していき、特に変わった様子があれば、主治医、運営者、管理者に速やかに報告をし、指示を仰ぎ、状況によってだが、家族様に報告をしていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人ファイルに閉じ、薬の変更があったときには業務日誌を用いて、スタッフ全員に周知を図っている。		今後も薬の説明書を個人ファイルに閉じ、薬の変更があったときには業務日誌を用いて、スタッフ全員に周知を図っていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	主治医との連携を通じて、便秘の原因の対策に取り組んでおり、外出やレクリエーションを通じて自然に体を動かしてもらうように取り組んでいる。また、食事に関しても繊維質や牛乳などを用いて対策している。		今後も主治医との連携を通じて、便秘の原因の対策に取り組んでいき、外出やレクリエーションを通じて自然に体を動かしてもらうように取り組んでいく。また、食事に関しても繊維質や牛乳などを用いて対策していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアに取り組んでおり、一人ひとりの状況に応じて対策している。またレクリエーションで嚥下体操をしていただいたりして予防にも努めている。		今後も毎食後の口腔ケアに取り組んでいき、一人ひとりの状況に応じて対策していく。またレクリエーションで嚥下体操をしていただいたりして予防にも努めていく。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一週間の献立表を栄養バランスを考えながら作成し、一人ひとりの食事摂取量に応じて、調理師の指導の下、栄養が足りなければ、足りないところを補っている。また、利用者様全員の水分チェックを行っている。		今後も一週間の献立表を栄養バランスを考えながら作成し、一人ひとりの食事摂取量に応じて、調理師の指導の下、栄養が足りなければ、足りないところを補っていく。また、利用者様全員の水分チェックも行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防マニュアルを作成し、スタッフに周知を図っている。また、チェック表を用いて、塩素系ハイターで手すり、テーブル、肘掛けなどを定期的に消毒している。居室内も、チェック表を用いて、定期的に清掃をしている。		今後も感染症予防マニュアルを用いて、スタッフに周知を図っていき、チェック表を用いて塩素系ハイターで手すり、テーブル、肘掛けなどを定期的に消毒していく。居室内も、チェック表を用いて、定期的に清掃をしていく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所関係は業者の方に定期的に消毒をしてもらっている。また調理用具は、毎日消毒をしている。食材に関しては利用者様に新鮮で美味しいものを食べていただくために、毎日近隣の店に必要な分だけを利用者様と一緒に買い物に出かけている。		今後も台所関係は業者の方に定期的に消毒をしてもらっていく。また調理用具は、毎日消毒をしていく。食材に関しては利用者様に新鮮で美味しいものを食べていただくために、毎日近隣の店に必要な分だけを利用者様と一緒に買い物に出かけていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には親しみやすいように草木を植え、また場所が分かりやすいように表札を掲げている。夜間は外灯を点けたままにしており、防犯対策にも取り組んでいる。		今後も玄関には親しみやすいように草木を植え、また場所が分かりやすいように表札を掲げていく。夜間は外灯を点けたままにして、防犯対策にも取り組んでいく。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所内でも季節を感じながら生活をしていただけるように、ベランダには季節に応じた草花を利用者様と一緒に育てている。また、目に付きやすい所や、居室内には利用者様と一緒に作成した飾り付けを付けている。		今後も事業所内でも季節を感じながら生活をしていただけるように、ベランダには季節に応じた草花を利用者様と一緒に育てていく。また、目に付きやすい所や、居室内には利用者様と一緒に作成した飾り付けを付けていく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを置き、くつろげるように配慮をしている。また、食事の席は利用者様が自分で席を選べるようにして、それぞれ気の合う仲間同士で座っていただけるようにしている。また、喫煙スペースも設けている。	○	ハード面の問題（共用空間の大きさ）もあり、限られた空間であるのでいすの配置もある程度は決まってくるが、スタッフみんな、どのようにすれば利用者様にくつろいでいただけるか、今後も模索していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	本人様が家で使われていた家具、仏壇、電化製品 などを持ち込んでいただき、出来る限り家にいた ときと同じように過ごしていただけるように本人 様や家族様と相談をしている。		今後も本人様が家で使われていた家具、仏壇、電 化製品などを持ち込んでいただき、出来る限り家 にいたときと同じように過ごしていただけるよう に本人様や家族様と相談をしていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	居室、共用部共に定期的に換気を行っており、エ アコンを使用する際は外気温との差を5℃以内 に設定している。また、脱衣所にもエアコンを設 置し、浴槽との温度差が少なくなるように配慮 をしている。		今後も居室、共用部共に定期的に換気を行って いき、エアコンを使用する際は外気温との差を5 ℃以内に設定していく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	利用者様が安全に過ごしていただけるように、必 要な所に手すりを設置して配慮をしている。ま た、建物はバリアフリーに設計されており、車 椅子の方でも安心して生活していただけるよう にしている。		今後も利用者様に安心して生活をしていただ けるように環境整備に努め、必要に応じて対策 を考えていく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	利用者様に出来る限り持てる力を用いて、自然 に生活を送っていただくことを大事に考え、安 易な支援を行わないようにしている。日々の生 活の中で、調理や、洗濯、清掃などを通じて活 躍していただいている。		今後も利用者様に出来る限り持てる力を用い て、自然に生活を送っていただくことを大事に 考え、安易な支援を行わないようにしていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	各フロアのベランダや、屋上庭園には、四季折 々の野菜や果物、植物が植えられており、水 遣りや、雑草の手入れなどをスタッフと一緒 に行い、楽しんでいただいている。		今後も各フロアのベランダや、屋上庭園に、 四季折々の野菜や果物、植物を植えていき、 水遣りや、雑草の手入れなどをスタッフと一緒 に行っていく。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

運営者の思いとして、「利用者様の希望を明日に先送りせず、その日その日を大切に。すべての物事に対して柔軟な対応を心がける。」という事を、現場で実際に形として利用者様に表せることが出来るように、管理者を始め、スタッフ一同、日々努力をしています。